

大谷學報

第八十二卷 第四号

平成十六年三月十日発行

親鸞における仏道観……………中川皓三郎 (1)

——『大經』五悪段の教説をてがかりとして——

近世における源信と母の説話について……………北城伸子 (14)

平成十四年度 大谷学会研究発表会 発表要旨…………… (29)

彙報…………… (38)

学位論文審査要旨…………… (16)

チベット自治区博物館蔵五言語合璧

『如來大寶法王建普度大齋長卷画』

(一四〇七年)のモンゴル語テキストについて

……………松川 節 (1)

大 谷 大 学

大 谷 学 会

大谷学報 第八十二卷 第二号

「大原御幸」をめぐる一つの読み……………村上 學

——『閑居友』の視座から——

二〇〇二年度 春季公開講演会講演要旨

日本近世の聖なるもの……………大桑 齊

——徳川王権と都市——

〈他者の語らい〉について……………新宮 一成

大谷大学蔵新出角筆文献について……………小林芳規

「判比量論」の角筆譜について……………岩田宗一

彙 報

大谷学報 第八十二卷 第三号

六祖慧能「風幡問答」から

南宗禪「無情説法」へ……………荒牧典俊

彙 報

学位論文審査要旨

「アリマス アリマセン、

アレワ ナンデスカ」……………芦津かおり

——本邦初のハムレット第四独白訳について——

THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

CONTENTS

Article :

On the Mongolian Text of Pentaglot
The Great Scroll (1407) Preserved
in the Tibet Museum, Lhasa. *MATSUKAWA Takashi* (1)

Examination Report of Theses Presented
for the Degree of Doctor of Literature (16)

Résumés of Papers Presented at the Otani Society
Annual Meeting 2002 (29)

Articles :

Commentaries on the *Ōjyōyōshū* and Stories
of Genshin and His Mother
in the Edo Period *KITASHIRO Nobuko* (14)

Shinran's View of the Buddhist Path:
On the Five Evils of the *Larger Sūtra* *NAKAGAWA Kōzaburō* (1)

Miscellaneous :

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN

大谷学会規程

第一条 大谷大学に大谷学会を置く。

第二条 本会は真宗学・仏教学・哲学・社会学・史学・文学・国際文化学、その他の学術研究と発表をおこなうことを目的とする。

第三条 本会は前条の目的を達成するため、左の事業をおこなう。

一、季刊「大谷学報」の発行

二、「大谷大学研究年報」の発行

三、研究会及び公開講演会の開催

四、その他必要なる事業

第四条 1、本会は大谷大学大学院・文学部並びに短期大学のすべての教育職員及び学生をもって会員とする。

2、前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認されたものは、会員となることができる。

第五条 本会に左の役員を置く。

一、会長

二、委員

三、監事

第六条 会長には大谷大学学長が当り、会務を統理する。

第七条 1、委員は十名とし、教授会において互選する。

2、委員は企画・編集・出版等の会務を掌理する

3、委員の任期は二年とする。但し再任をさまたげない。

第八条 1、監事は二名とし、教授会において互選する。任期は二年とする。

2、監事は本会の会計を監査する。

第九条 会員は本会の出版物にその研究を發表し、「大谷学報」並びに「大谷大学研究年報」の配布を受け、本会主催の会合に出席することができる。

第一〇条 会員の会費は年額金四千元とする。但し、学生会員は貳千元とする。

第十一条 1、本会の経費は会費をもってこれに当てる。

2、本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

第十二条 本会の事務は、学務課の所管とする。

第十三条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。

附則 1、この規程は昭和五十六年四月一日から施行する。

2、昭和三十七年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する

3、平成五年四月一日一部改正
〈大谷学会委員〉

浅見直一郎 須藤 訓任

高井 康弘 番場 寛

藤嶽 明信 藤本 芳則

村井 英雄 村松 法文

R・F・ローズ

平成十六年三月十日発行

編集兼 大谷学会 延塚 知道

発行者 大谷学会

発行所 大谷学会

〒六〇八二四 京都市北区小山上総町
大谷大学内

☎ (〇七五) 四一八一五八〇

振替 〇一〇四〇七七一八三九三番

印刷者 西村七兵衛